

大分教会を訪問しました

7月21日(木)は大分教会におじゃましました。果たしてどのくらいの方々が集まってくくださるだろうか、伊藤伝道委員長と心配しておりましたが、なんと14教会79名もの皆様方がいらしてくださいました。

村田牧師は奨励の中で、子ども達のために取り入れた子どもメッセージや子ども讚美歌が、礼拝そのものの雰囲気を変えていくことになったことを紹介しながら、一人ひとりが大切にされる場所としての礼拝を目指している、と語ってくださいました。



後半の分かち合いでは、「教会が異なる考え方、背景を持った人たちと共に生きる場所になっているかどうか」について、グループで対話する時間をもちました。そして、大分教会に来てみての感想を分かち合いました。「連合を身近に感じる良い機会になりました」「バリアフリーの会堂で移動がとても楽でした」などの感想が分かち合われていました。

大分教会の皆様方の温かいおもてなしを感謝します。



教会おじゃまします

伝道委員会と宣教支援センターの共同企画

編集後記

このたびバプテスト北九州地方連合壮年会が中心になって、第51回全国壮年大会を開催する運びになりましたことを嬉しく思います。とりわけ1日目の会場をお貸しくださった西南女学院の田中総二院長をはじめ、教職員の皆様方に厚く御礼申し上げます。

今回の出会いが、連合諸教会と西南女学院との絆を再確認する機会になりますことを、心から期待しています。

第51回全国壮年大会in北九州
2016年8月19日(金)~20日(土)

北九州はバプテストの拠点の一つ。この機会にぜひ、北九州へ！

大会主題 「連帯と祈り」
～協力伝道を通して、私たちが目指すもの～

講演、パネルディスカッションで共にこれからの協力伝道を求めていきましょう。

主催：伝道委員会
協賛：金沢キリスト教会牧師 日本バプテスト連合理事長

西南女学院大学 19日会場
シオン山教会 20日会場

全国壮年大会in北九州実行委員会
若戸大輔は元北九州バプテスト教会牧師高田太郎(若戸市長)の尽力による

次回予告

巻頭言：山田雄次牧師
宣教支援センター運営委員長(高須)
おじゃまします報告：高須教会

8月・9月の予定

- 8月14日(日)少年少女会夏の交流会 (若松)~15日
- 15日(月)連合8・15集会(シオン山)14時
- 19日(金)全国壮年大会1日目 (西南女学院)13時
- 20日(土)全国壮年大会2日目 (シオン山)8時15分
- 25日(木)教会おじゃまします ~高須教会 19時
- 28日(日)折尾教会内村茂牧師就任式 14時半
- 9月11日(日)宣教支援センター運営委員会 (シオン山)15時半
- 29日(木)教会おじゃまします ~防府教会 14時

連盟全国支援・地域協働プロジェクト バプテスト北九州地方連合 宣教支援センターニュース 14号

発行責任者：山田雄次
発行所：〒805-0015
北九州市八幡東区荒生田2-1-40
Tel&Fax：(093)651-6669
東八幡キリスト教会内
連合宣教支援センター事務局
発行日：2016年8月10日



バプテスト北九州地方連合まつりに向けて(1)
大分地区 神学生を囲む会レポート
教会教育委員会主催 小学科夏期学校
教会おじゃまします 大分教会

写真：子ども達もおじゃまします
(7/21 大分教会)



「然り」を「然り」、「否」を「否」として発言し行動するキリスト者
連合社会ヤスクニ委員会委員長 藤田英彦(東八幡)

先の参議院選挙に於いて、選挙期間中は「憲法問題は争点としない」としながら、自公両党を始めとする改憲勢力が3分の2を占めた翌日、安倍首相は「憲法問題は立法院の問題だが、次回国会から憲法調査会設置を考える」と発言して憚りませんでした。「壊憲」問題は単なる恐れでなく、私たちが厳しく取り組まざるを得ない現実の課題と

なってきました。

また参院選後に、天皇の皇位継承「生前退位説」が突然浮上して、マスコミを賑わせています。明仁現天皇夫妻の平和への強い想いと先の大戦犠牲者への鎮魂、打ち続く災害被害者の慰めのための旅行と、激しく多忙な国の公式業務に対して、心臓を患い80歳を超えた老体には無理だということであり、皇太子兄弟も同意しているという報道です。これに対し宮内庁長官は「これは公式でない」とし、政府も無関心を装っています。

この問題は然し、決して単純簡単なことではなく、皇室典範改正、摂政論、上皇論、大嘗祭問題、靖国神社法不成立後に起こった「元号法」(一世一代説)、天皇元首論(自民党改憲草案)等々、各種の問題を解決せねばなりません。

それだけではなく、参院選後、国の沖縄辺野古建設一方的再開訴訟、高江村ヘリパット建設強行など沖縄県民の民意をないがしろにした暴力的行為が、臆面もなく一方的に進められていることにも目を留めておかなければなりません。

憲法問題は、第一章天皇問題、第二章戦争の放棄の第九条問題も大きな問題ですが、更に第三章基本的人権の自由・平等に関する諸条項も同時に、人間の生き方に関する極めて大切な問題が山積されています。

1889年、「明治帝国憲法」が公布された翌年、1890年に「教育勅語」が公布されて、戦前の絶対的天皇制覇権主義が徹底して教育現場において遂行され敗戦に至った、戦前に対する深刻な反省から1947年に「主権在民・平和・基本的人権」を前文に謳った新「日本国憲法」が制定され、続いて「教育基本法」が施行されたのです。

この国の基本的立場が壊され、変えられようとするこの時、バプテスト北九州地方連合は、来る8月15日午後2時から、シオン山教会に於いて、これまで、真剣に道徳教育問題に取り組んで来られた西南女学院中学高等学校校長村瀬泉先生に、聖書の立場から、現在進められつつある教育現場の現状と如何に向かい合っておられるかをお聴きします。キリスト者としての私たち自身、また教会教育の在り方を考え、今のこの時代に、信仰に立って「然り」を「しかり」とし、「否」を「いな」として臆することなく発言し、行動してゆく者となりたいものです。

「バプテスト北九州地方連合まつり」に向けて(1)

○どうして「まつり」を開くのか

2015年9月23日、東八幡教会を会場に「宣教支援センター開所式・主事就任式」が開かれ、九州地区を中心に約300名の皆様方をお迎えすることができました。

開所式の第2部では、4つの教会が趣向を凝らした「出し物」を準備して、センターの門出に花を添えてくださいました。賛美あり寸劇ありのわずか1時間弱のプログラムでしたが、諸教会で語り草になるほどの時間になりました。

年1回、10月の「体育の日」に連合諸教会に連なる方々が一堂に会して、教会の成長を期する時を持ちたい。新しい希望に燃えることのできる「まつり」を開きたい。このような理由で、連合伝道委員会との共催で「第1回バプテスト北九州地方連合まつり」(略称：連合まつり)を企画いたしました。会場はシオン山教会です。



○第1回の動員目標は200名

昨年の開所式で、参加された方が大きく心を動かされたのは、内容もさることながら、あの日300名近い方々が東八幡教会に集まったという事実でした。

第1回の動員目標は、昨年の連合行事で最も参加者数が多かった、連合8・15集会の200名にすることを決めました。10月10日(月)10時に、200名の皆様方を集めたいと思います。

今からカレンダーに書き込んでおいていただけますと感謝です。

○今回のテーマ「人を元気にする教会になろう」

「教会元気プラン」に取り組んでいる枝光教会と防府教会に共通して言えること、それは他者のための教会を目指すということです。

教会が元気になる。それは端的に言えば、イエス・キリストの十字架と復活に生きる教会になるということです。イエスは小さくされた者、社会の中で弱くされた者に寄り添い、福音を告げて回られました。そして罪深い人々の手によって十字架にかけられました。

たとえ救われたとしても、自分の中にある罪は消えません。けれども罪人としての私は赦されています。この緊張関係の中で、赦された罪人としていかに生きるのか、恵みに応答する生き方そのものが問われています。

人を元気にするために私たちにできることは何でしょうか。枝光教会・防府教会の事例から、そして講師としてお招きする古賀教会の金子敬牧師から一緒に学びたいと思います。

※次号では「連合まつり」のプログラムについてご紹介する予定です。

2016年度
バプテスト
北九州地方連合まつり

10.10
10:00-15:30
at シオン山教会

KOKURA
MINAMI
KOKURA
ZIONZAN
BUZEN
KIKU
HOFUONODA
MOJI MOIJO
JESUS CHRIST
SHIMONO SEKI TOMINO
KITA KYUSHU WAKAMATSU
TAKASU
YAHATA
HIKARI
HIGASHI YAHATA
EDAMITSU
ORIO
ASHIYA
NAKAMA
NOGATA
IIZUKA
KANDA
OITA
BEPPU
KOKUSAI
USUKI

テーマ
人を元気にする
教会になろう

講師:金子敬先生
(古賀教会牧師)

主催:北九州地方連合伝道委員会
宣教支援センター

大分地区で「神学生を囲む会」が開かれました



6月25日(土)大分教会を会場に「神学生を囲む会」が開かれ、大分地区の3教会と豊前教会等の方々が40名近く集まりました。西南学院大学神学部より加山献神学生を迎えて、共に主を賛美し、献身の証しを伺う時が持たれました。

集合写真の顔ぶれを拝見いたしますと、大分地区3教会と豊前教会の教役者と役員の皆様方が多く集われていることが分かります。神学生を覚えて祈りながらささげていくことを、それぞれの教会が、自分たちの事柄として捉えている様子が伝わってきます。

本格的な人口減少社会を迎える中で、キリスト教会を取り巻く環境は

年々厳しさを増しています。西南学院大学神学部、九州バプテスト神学校、東京バプテスト神学校に学ぶ献身者のお一人お一人と、献身者を送り出している推薦教会を覚えて、これからも祈りを合わせていきたいと思っています。



教会教育委員会主催「小学科夏期学校 in 源じいの森」

7月25日(月)~26日(火)に源じいの森にて教会教育委員会主催の小学科夏期学校が開催されました。参加者は10教会から小学生14名、幼児5名、中高生3名、大人16名でした。今年は小野田教会の佐野太牧師を講師とし、「教会~みんなイエスさまのともだち」というテーマで二日間学びました。佐野先生は使徒言行録9章4節を軸に、自分が小学生時代に経験した事柄を語って下さり、子どもたちはその事柄を自分の周りにもある事として聴き、また語り合いました。



一番楽しみにしていた川遊びは大雨に見舞われ途中で中止となりましたが、子どもたちは夏期学校を最後まで元気に過ごしました。

そんな中で特に印象に残ったのはある子がスタッフたちに何度も「ぼく、友だちができたんだ」と嬉しそうに話している姿でした。それぞれの教会では子どもたちが少なくなっている中、夏期学校を通して出会いが、祈り合う友だちが与えられている事を確信した出来事でした。



また、子どもの参加者がいなくても、奉仕者を送り出して下さった教会もあり、連合諸教会の働きなしには成立しない集会だと改めて感じています。連合諸教会の皆様のお祈りに感謝致します。